

＜事業者の概要＞

1. 所在地：愛媛県四国中央市土居町上野甲1525番地
2. 代表者：代表社員 佐藤 和洋
3. 主な品目：赤石五葉松
4. 主な輸出先国・地域：EU
5. 事業概要：赤石五葉松の盆栽の栽培、販売を行う農業生産法人。盆栽の輸出に取り組む農業者で構成する「赤石五葉松輸出振興組合」の事務局を務め、EUの植物検疫への対応、輸出促進活動に取り組む。



圃場の様子



ローマ教皇に寄贈した赤石五葉松



【輸出の取組内容】

- EU向け盆栽輸出は植物検疫への対応が求められるため、地面から50cm以上離れた栽培管理を2年程度行うなど規制に対応した生産管理体制を整備している。
- 2017年度にドイツ、フランスへ約200本の五葉松盆栽を輸出した。2019年10月に赤石五葉松2鉢をローマ教皇に献上し、認知度の向上に繋げる。
- EUでは盆栽の人気が高いこともあり、輸出額は年々増加し、2016年に275万円だった輸出額は、2021年には1,795万円まで増加。

【取組経緯】

- 赤石五葉松は国内販売の低迷が続き、産地崩壊の危機を感じたため、盆栽人気の高いEUへの販路開拓を検討。
- ドイツ、フランス、イタリア（ローマ）で現地調査を行ったところ、五葉松の認知度が高いことが判明し、2016年からEU向けに輸出を開始。

【課題と対応方法】

- OEUの植物検疫規制強化への対応
→未使用の人工培土又は消毒済みの培養資材の植付けが必要となり、鉢揚げ後の枯死を防止するため、養生ハウスの設置や夏の遮光、灌水の自動化を進める。
- 知名度の向上
→JETROと連携した海外バイヤーの招聘、展示会への出展、ローマ教皇に贈呈した実績のアピールなどにより知名度の浸透を図る。

【実績】

輸出額（万円）		輸出国割合（%） 2022年	
2020年	487	スペイン	70
2021年	1,795	ドイツ	30
2022年	956		

【今後の事業展開】

- ✓ 国内だけではなく、EU加盟国内にも管理圃場を整備し、現地で周年販売できる体制を構築することにより知名度を向上し、益々の販売促進を目指す。
- ✓ QRコードを活用した個体識別管理による生産・販売管理の高度化やトレーサビリティの確保、掘取機械導入による作業の効率化を目指すことで、海外からの需要に応じた供給能力の向上を図る。